



地方独立行政法人 神戸市民病院機構 第2期中期計画 の概要

中央市民病院



西市民病院



第1 中期計画の期間 平成26年4月1日から平成31年3月31日

第2期中期計画における重点項目

- 中央市民病院：「断らない救急」の実践、より高度で専門的な医療の提供
- 西市民病院：年間を通じた救急医療及び高水準の標準的医療の提供、医療と介護の架け橋
- 人材育成：高い専門性と協調性、ホスピタリティの心を兼ね備えた職員の育成
- 経営面：質の高い経営ができる病院づくり、安定的な経常収支及び資金収支の維持

第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上

1 市民病院としての役割の発揮

- (1) 救急医療
 - ・「断らない救急」の実践、救命救急センターとして救急医療の提供(中央)、年間を通じた24時間救急医療の提供(西)
- (2) 小児・周産期医療
 - ・ハイリスク出産への対応及び産科・新生児科・小児科による一貫した医療の提供(中央)、安定した周産期医療及び小児医療の提供(西)
- (3) 災害医療及び感染症医療その他の緊急時における医療
 - ・非常時にも継続して医療を提供できるよう平時からの対応マニュアルの整備及び訓練への取り組み

2 高度医療及び専門医療の充実並びに医療水準向上への貢献

- (1) 高度医療及び専門医療の充実並びに医療需要に応じた医療の提供
 - ・疾病構造や医療需要の変化への柔軟な対応、質の高い総合的な医療の提供、先進医療等への取り組み(中央)、診療科の体制強化及び内視鏡検査部門の充実(西)
- (2) 5疾患(がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病及び精神疾患)への対応
 - ・がん:両病院の役割に応じた患者の負担の少ない治療の提供、高度な標準治療の提供
 - ・脳血管障害・心循環器疾患:内科系及び外科系医師等の協力による最適な医療の提供(中央)
 - ・糖尿病:地域連携パスの利用促進、糖尿病合併症への対応
 - ・精神疾患:身体合併症への対応
- (3) チーム医療の実践及び専門性の発揮
 - ・チーム医療の一層の推進、各専門職による専門性の発揮
- (4) 臨床研究及び治験の推進
 - ・再生医療等高度な医療の早期実用化等のため臨床研究及び治験への取り組み、論文投稿や学会発表等による医療の発展への貢献

3 安全で質の高い医療を提供する体制の維持

- (1) 医療の質を管理することの徹底(クリニカルパス及び臨床評価指標の充実等)
 - ・クリニカルパス及び臨床評価指標等の活用、医療情報共有化による地域医療機関との更なる連携(中央)、電子カルテの円滑な導入(西)
- (2) 医療安全対策及び医療関連感染(院内感染)対策の強化
 - ・インシデントレポート及びアクシデントレポートの報告及び分析の強化
- (3) 法令及び行動規範の遵守(コンプライアンス)の徹底
 - ・医療法等関係法令の遵守、院内における職場研修の定期的な実施

4 市民及び患者とともに築くやさしい病院

- (1) 患者のニーズに応じたサービスの提供
 - ・総合的な待ち時間対策、療養環境の向上、安全かつ良好な入院食の提供、ボランティアとの連携、だれもが利用しやすい病院づくり(アクセスの改善、多言語化への対応等)
- (2) 市民及び患者へ開かれた病院(市民への情報発信)
 - ・広報誌やホームページの充実、健康づくり施策への取り組み

5 地域医療連携の推進

- (1) 地域医療機関との更なる連携
 - ・地域医療支援病院としての役割(中央・西)、地域連携パスの活用、持参薬情報の整理と共有、顔の見える地域連携
- (2) 在宅医療への支援及び在宅医療との連携の強化
 - ・地域包括ケアシステムへの寄与、入院初期からの退院支援の実施

第3 業務運営の改善及び効率化

1 優れた専門職の確保と人材育成

- (1) 優れた専門職の確保
 - ・柔軟な採用形態の活用、優れた病院や大学との連携及び県外採用活動の促進等による高い専門性を持った優秀な人材の確保
- (2) 職員の能力向上等への取り組み
 - ・高い意識とホスピタリティの心を持った職員を育成するため患者対応研修等の実施、指導者の育成
- (3) 人材育成等における地域貢献
 - ・地域における優秀な人材育成への貢献

2 働きやすくやりがいの持てる環境づくり

- (1) 努力が評価され報われる人事給与制度等の導入
 - ・公平かつ客観的な評価制度の導入、昇任資格の見直し等による優秀な職員の積極的な登用
- (2) 働きやすい環境の整備
 - ・モチベーション向上に繋がる取り組みの実施、院内保育所等の充実、職種間の連携や役割分担の促進、民間事業者の活用促進、勤務体制の工夫及び改善

第4 財務内容の改善

1 安定的な経営基盤の維持

- (1) 安定的な経常収支及び資金収支の維持
 - ・より自立した経営、安定的な経常収支及び資金収支の維持
- (2) 収入の確保
 - ・適切な病床利用率の維持、DPC/PDPSを踏まえた在院日数の適正化、手術室及び医療機器の効率的な運用
- (3) 費用の合理化及び業務の効率化
 - ・固定費をはじめとした費用削減や効率化及び平準化の実施、業務量に応じた人員配置等による効率的かつ効果的な体制の構築、価格交渉の継続実施や在庫管理の徹底

2 質の高い経営ができる病院づくり

- (1) 質の高い経営体制の維持
 - ・PDCAサイクルの確実な実施、リスクマネジメント体制の構築
- (2) 計画的な投資の実施
 - ・総合的な投資計画の策定及び着実な投資の実施・検証
- (3) 環境にやさしい病院づくり
 - ・温室効果ガス等の削減、環境負荷軽減

第5 その他業務運営に関する重要事項

1 中央市民病院におけるPFI事業の円滑な推進

- ・PFI事業者との連携及び協働、継続的な業務の改善及び発展

2 市関連病院との連携

- ・各部門での連携会議等の開催、人事交流の実施、西神戸医療センターとのより密接な連携

3 神戸医療産業都市における役割

- ・安全性と倫理性に考慮し、臨床に応用される段階になった医療の提供
- ・臨床部門の核としてリーダーシップの発揮(中央)

数値目標

【中央市民病院】

	平成24年度実績	目標値
クリニカルパス適用率(%)	55.6	(毎年度) 60.0以上
紹介率(%)	54.4	(毎年度) 55.0以上
逆紹介率(%)	83.5	(毎年度) 84.0以上
単年度資金収支(百万円)	2,606	(累計) 571
経常収支比率(%)	105.2	(累計) 100.5
病床利用率(%)	95.5	(平成30年度) 93.5
給与費比率(%)	43.3	(平成30年度) 45.3
材料費比率(%)	29.5	(平成30年度) 29.4
経費比率(%)	18.5	(平成30年度) 19.8

※関連指標：98項目

【西市民病院】

	平成24年度実績	目標値
クリニカルパス適用率(%)	46.7	(毎年度) 50.0以上
紹介率(%)	43.2	(毎年度) 45.0以上
逆紹介率(%)	62.6	(毎年度) 65.0以上
単年度資金収支(百万円)	525	(累計) 48
経常収支比率(%)	105.9	(累計) 100.1
病床利用率(%)	90.0	(平成30年度) 89.5
給与費比率(%)	54.4	(平成30年度) 55.8
材料費比率(%)	22.9	(平成30年度) 22.9
経費比率(%)	15.6	(平成30年度) 17.3

※関連指標：87項目

※(下線付き表示)は、第2期中期計画での主な新規・拡充項目等